

不動産ノ事件ニ付テハ必ラス合併スヘシト云ヒタリ

ソノ裁判ニ付テハ執行ハ負ケタルモノ、領事ノ目前ニテ為スヘシ若シソノ領事ノ居ラサルトキハ之レヲ呼出シテ為スヘシト云ヒタリ之レハ委負ノ方ヨリ求メタリ

若シ負ケ訴訟ノモノハ不動産ヲ取押ユルト等アルユヘ此ノ如ク為シタルモノナリ併シ領事ノ立合フハ不用ノ如キモノナリ又害トハナラサルモノナリ

タトヘハ財産取押マテ領事ニテ為スヲ得サルモノナリ之レハ目錄アルユヘ領事ノ立合ハ不用ナリ

刑事ニ於テモ処刑ノ云ヒ渡シニハ立合フナレ氏之レヲ処刑スルマテハ立合ヒハ為サ、ルユヘ不用ナリ

委負ニテハ原則ヲ許シテ更ニ領事ヲ立合ハスルトヲ云フト虽モ始メヨリ終リマテ立合ヲモノニアテサルユヘ格別ノ用ヲ為サ、ルナリ

第三章

之レハ埃及ヨリ陳述シタル保証ノトナリ委員  
即チ承諾シタリ

第一裁判所ノ組立

歐人ニ関スルトハ歐ノ裁判官ヲ多クス  
初告裁判所ニハ三名ノ裁判官商法事件ニハ補  
官ニ名ヲ要ス

控訴裁判所ニハ五名ノ裁判官之レハ補官ナレ  
第二

聽訟ヲ公ケニスルト

第三

裁判官ニハ不拔ノ権ヲ与フルト

ソノ昇進ヲ行政官任スルキハ愛憎ニヨリテ昇  
進スルユヘ裁判所ノ具状ニヨルヘレト定メ  
タリ

第四

書記長書記使吏譯官檢官

然ルニ代書師ハナレ

第四章

初告裁判所ニハ裁判官三人ナリトシテソノ裁

判官言渡ニ付キ説ノ分カル、トキ万一人  
ト二人ニテハ歐人ニテ埃及人ノ説ニ從ハサ  
ルヲ得サルナリ仍テ委負之レヲ求メテ五名  
トナシタリ仍テ三人ハ歐人ナリトス初告裁  
判所五人トナリタルユヘ控訴裁判所ハ委負  
ヨリ求メテ七人トナシタリ之レハ歐人ハ四  
人ナリ

再查裁判所ハ大審院ノ如キモノナリ之レハ七  
負ヲ置キ四負ハ歐人ナリソノ上席人ハ推威  
ノ強キモノユヘ歐人ヲ以テシソノ長官ハ埃  
人トナシタリ

ボアソナード案スルニ埃人ヲ以テ上席人ト為  
ストモ歐人既ニ多キユヘソノ害ハアルマレ  
キト思フナリ

此考ハ実ニ不分明ナリ埃人ヲ上席人ト為スト  
モソノ説ノ分カレタリトモ必テス上席人ニ  
付クコハナレ又皆ナ不拔ノ推ヲ有スルユヘ  
ソノ昇進等ニ付テモ埃人ノ上席人ニテ私ヲ  
營スルコトヲ得ス之レヲ上席人ト為ストモ苦  
シカラサルコト思フナリ

外務卿ノ「ニバルパレヤ」ハ事ニ慣レタル人ニ  
ハ此「ニ付テハ故障ヲ云フヘキ」ナリシト  
思フナリ然ルニ之レヲ云ハサルハ氣カ付カ  
サリシナルヘレ

萬一「ニバルパレヤ」ニテ右ノ如クニ難シタラ  
ハ委負ハ困却セシナルヘレ

萬一日本ニテ合併裁判ヲ起ストキニ日本人ヲ  
上席ト為サ、ル「アルトキハソノ不都合ヲ  
問ハサル可カラサルナリ

元来上席人ハソノ各アリテソノ格別ナル推ハ

ナキナリ

タトヒソノ各ノミナリトモ之レハ自國ノ人ヲ  
得テスヘキナリ

土人ト歐人ト両方ヲ不都合ナキヨフニ保護ス  
ル「ヲ承諾シタリ

埃人ヲ長官ト為ス「ヲ許レタリ之レハ埃人ヲ  
一等長官トナシ歐人ヲ副長官トナシ歐人ノ  
裁判アルトキハ副長官ニテ上席人ヲ為ス「  
ト定メタリ

埃人ニテ此裁判所へ出テタルトキハ埃人ニテ

長官トナルトト為レタリ

委員ヨリ求ムルニハ外国人ノ各代ハ歐洲ニ於  
テ代言人ノ免許ニ受クルモノト云ヘリ

之レハ本人ノ情願ヨリ出ツルヤ又ハ必ラス代  
人ヲ出スヤハ書カサレ氏情願アルトキノミ  
ナルヘシ

辨論并ニ訴状ハ三ヶ国ノ語ヲ用エルトアラヒ  
ヤ語佛語伊太利亞語ナリ

英人ト佛人ナルトキハ總テ佛語ヲ用ユ伊太利  
亞人トレハ伊太利亞語ヲ用ユ

時ニヨリテニヶ国ノ語ヲ用ユ

埃人ト伊太利亞人トノ訴訟ナルトキハ埃人ハ  
埃語伊太利亞人ハ伊太利亞語ヲ用ユ

埃語ト伊語トノ訴状ハアラヒヤ語ヲ以テ通譯  
シテ無相違旨ヲ述フルナリ

ソノアラヒヤ語ニテ譯シタル一通ハ裁判所ニ  
残ルナリ

此手續キハ詳カニ書ヒテハナレ候レハ此  
ノ如キト察ス

日本ニテ此ノ如キト為ストキハタトヘハ英

語佛語日本語ト三ヶ国ノ語ト定メ總テ訴状  
ハ日本語ヲ以テ譯スヘレト書ク方ヨロシ  
裁判所規律罪ノ下ハ後ニ定ムヘレト云ヒテ此  
所ニテハ定メサリシナリ

委員ニテハ不動産所有ニ書キ入レ、オツクス  
ノ財産ノ処分ニ行政官ノ推限ニ関スル下  
ヲ猶精密ニ確定センヲ求メタリ  
右ノ結局ハ如何ナリレヤ知ラス此結局ヲ主張  
スルニ二事ヲ以テ終ハレリ一ツハ法律編成  
ノ下ナリニハ合供裁判ハ先ツ五年ノ間假リ

ニ設ケテ試ムル方ソノ上ニテ更ニ改正スヘ  
レト云ヒタリ

第二 刑事

委員ニテハ刑事ノ合供裁判ハ餘リニ好マサリ  
シナリ

違式罪ノ裁判ヲ為スニ如シ犯人埃人ナレハ埃  
ノ裁判官ニテ之レヲ断レ歐人ナレハ歐ノ裁  
判官ニテ之レヲ断スヘレ

此法律ハ一定ノ刑法ニ依ル下ト見ヘタリ  
併レ後ニ刑法出来ヤレ上ハ一定ノ法律ニ依ル

ヘシトナリ

此刑法今日ハ既ニ出来シタリ此書面ノ時ハ未  
タ出来セサルナリ

如シ犯人禁獄ニ処セラル、トキハ控訴ヲ許ス  
ナリ

如シ領事ノ布告スル指令ニ違犯スルトキハ領  
事之レヲ裁判スルナリ

之レハ一向埃人ノ益トハナラサルナリ

日本ニ於テモ此事ハ同様ナリタトヘハ佛人ニ  
テ日本へ来リタルトキハ佛ノ領事へ商事ヲ

為シ且何程ノ商事ヲ為ス等ハ佛ノ領事へ届

出ツヘシト布告スルコト等ナリ日本ニテハ益

ニモナラス損ニモナラサルコトナリ

タトヘハ領事ヨリシテソノ国人ノ商事ニ用ユ

ル帳面ヘハ領事ニテ捺印ヲ為スコトヲ布告シ

テアルナリ

之レ等ハ埃人ニテ少シモ関係ナキコトナリ

之レハソノ約束マテニテ新規ノ裁判所ハ未タ

組立テス

法律ヲ編成スルマテ遷延スルノ約束ナリ

此法律ハ千八百七十年ヨリ千八百七十三年マ  
テニ出来タルモノナリ

此時ニ至リテ裁判官ヲ保護シテソノ威推ヲ増  
サルヘカラスト云ヒタリ

然ルニ又一方ニテハ裁判官ニテ賄賂ヲ取りテ  
威推ヲ張リテハナラスト云ヒタリ

又処刑ヲ施行スル官負モ裁判官同様ニ敬禮ス  
ヘキコトヲ云ヒタリ

佛ニテハ之レヲ輕蔑スルトキハ刑法ニ正條ア  
リ又裁判官ノ威推ヲ美スル等モ刑法ニ正條

アリ

右ノ目的ヲ達セン為メニ千八百七十三年「コン  
スタンチノール」ニ會合シタリ之レハ埃及  
ハ「トルコ」ノ管轄ニ受ケテ居ルユヘ萬一拒マ  
レテ行ハレサルコトニテハナラサルユヘ「トル  
コ」ノ監視ヲ受クルノ主意ナリ

一月十一日ヨリ會談ヲ為レタリ此時出シタル  
委員ノ論說ハニツアリ

第一ハ新規裁判官ニ對シテノ罪ヲ断スヘキ  
事



然レ氏始終官負ニ對シテノ罪ト云フコトヲ得ス  
ソノ職務ヲ行フ時間又ハ行ハントスルトキ  
ノコトヲ云フ

併ニテモソノ區別ハ立テ難キコトナリ

裁官ヲ為ス間ハソノ職務ヲ行フ時間ナリソノ  
行ハントスル時間トハ裁判所外ニテ何レノ  
時ト所トヲ云フヤ甚々六ケレキコトナリ

タトヘハ裁判ヲ為ストキ人ニテ裁判官ヲ罵リ  
又ハ不敬ヲ為ストキハソノ職務ヲ行フタル  
トキト為スナリ

タトヒ職務ヲ行フトキナリトモ後口ノ腰拭ニ

拭ケタル衣類中ヨリ金ヲ盜マレタル等ハ職  
務ヲ行フトキノ罪ト言フヘカラス

裁判ヲ為ス節私宅へ盜賊ノ入りタル等

又ハ次ノ間ニ置キタルモノヲ盜マレタルトキ

等ハ職務ヲ行フ時間トハ言フコトヲ得ス

之レニ及シテ裁判ヲ行フ時間ニ近キコトアリ

タトヘハ今月裁判ヲ為スニ来月ニ至リソノ裁

判ヲ受ケタルモノニテ君ハ去月ノ裁判ハ賄

賂ヲ取りタルナラント云フトキ之レハ職務

ヲ行フ時ニアラサレ氏裁判ノ職務ニ関スル  
ナリ

併ニテモ民事ノ裁判ヲ為シタル後 ステ  
レヨ

ンニテ 出會罵リタルモノアリ之レハ行  
フタ

ル時間ニハアラサレ氏 処刑トナリタリ

尤モ先キヲ互ヒニ争フトキニ於テ罵リタルト

キハ官吏ニ對スル罪トハ云フヘカラス 此時

ハ何事モナキニ罵リタルエヘ罪ニ処セラレ

タリ

此第一部ハ官吏ニ對シテノ罪ナリ

第二ハ 処刑ノ時ノフタトヘハ 裁判言渡等ノト

キ不敬ヲ為ス等ノ時ヲ云フ 千八百七十三年

ニ法律編成ハ濟ミタリ 此第一第二第三等ハ

ソノ濟ミタル後ノフタ云フナリ 法律ノ内ニ

ハ多分一般ノフタ云ヒタルナルヘレ 然ルニ

何レノ時ハ何レノ罪ニ処スルト云フフハナ

キナルヘレ 仍テ 委負ヨリ 求メタルナルヘレ

元ヨリ 裁判官ニ對スル等ノ罪ハソノ限リナ

カルヘカラス 然ルニソノ限リナカリシナル

可シ

裁判種類ト裁判施行ノ妨碍等ノヲモ定メタ  
ルナリ又裁判官及ヒ裁判所附ノ官負如何ト  
アリ此如何トハ之レハ裁判官ト見ルヘキヤ  
又ハ裁判所附属官ト見ルヘキヤノ區別ヲ言  
フモノナリ

民法裁判改正

*Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 裁判, 官, and 區.*

二七午前

二月十二日

第四号

埃及國裁判改正

二月十二日

第一部ニ云フ所ロハ人民ヨリ裁判官并附属官ニ對シテノ罪ナリ

又裁判官并附属官ニテ人民ニ對シテノ罪ノ一ヲ云ヒタルモノナリ

第二部ノ所ロハ保証ノ一ヲ云ヒ立テタルモノナリ

第一ソノ所ロニハ訟フル所ロノ規則ハ何人ニテ之レヲ為スヘキヤソノ定メヲ為シタルモノアリ

第二 吟味ハ即チ訴訟取調ノ手ツ、キナリ

第三 ハ裁判所ノ構成ナリ

第四 ハ陪審并ニ附屬外人ノ目錄ノトニ関シタ

ルナリ目錄トハ此陪審トナルヘキモノ、目

録ヲ兼テ編成シテ置クナリ

第五 辨論トハ裁判所へ出テ吟味ヲ受ケ此方ヨ

リ討論ヲ為スコナリ

第六 処刑并ニ裁判言渡ノ施行ヲ云フ

此所ロニテ最モ所要ナルコトハ刑事ニ内外ノ陪

審ヲ用ユルコトナリ此所ロニテ用ユル陪審ハ

一種特別ノ輕重罪ニノミ用ユルコトヲ云ヒタ

レ氏後ニハ一般ニ用ユルナルヘシ

此所ロマテハ規則ヲ編成セシモノナリ此後ハ

法律編成ノコトヲ云フ

法律并ニ規則ハ二種ニ成リ居ルナリ

一種部ハ四十條二種ヲ合セテ八十條アルナリ

之マテハ民事ヲ先キニ云ヒ刑法ヲ後ニ云ヒタ

リ法律規則トハ即チ民刑ノ規則ナリトス

法律規則云々規則即チ法律ナリ

之レマテケ條ヲ立テ、書キタルモノアレトモ

一定セス

此所口ニテハ一定セシモノナリ

之レヲ施行スルニハ各國政府ノ許可ヲ得サレ

ハ行フヲ能ハサルユヘ埃及ニテハ頻リニ之

レヲ乞フナリ

昨日キ、タル話ニテ殆ント各國政府ノ允許ニ

ナルヘキ景況ナリト然ラハ不日ニ施行ヲ始

ムルナルヘレ

之レヲ施行スルニ埃及ニ居留スル公使ノ允許

ノミテハナラス本国政府ノ允許ナカルヘカ

ラス又ソノ政府ノ允許ノミニニテハナラス民

選議院ノ衆議ヲ経テ後未埃及ノ合併裁判ニ

付テノ法律ヲ立テサルヘカラス

ソノ規則中ニツニ分カル

一ツハ民法并ニ商法

ニツハ刑法ナリ

第一ハ民法商法ソノ一部又分カル初告裁判所

控訴裁判所

初告裁判所ハ三ヶ所

控訴裁判所ハ一ヶ所

之レヲ五ツノ小節目ニ分カツ

第一裁判所ノ設置

ソノ設置ハソノ裁判所ノ権ノ及フ所ロヲ政府ヨリ定ムルヲ

裁判官ヲ採用スルヲモ此中ニアリ

始メ之レヲ設クルトキハ入用文ケノ裁判官ヲ

一時ニ作ルナリ

ソノ欠ケタルトキハソノ欠ケヲ補フナリ補フ

トキモ埃及王ノ書キ付ケヲ以テ之レヲ命スルナリ

歐人ノ任ニ堪ヘタルモノヲ歐洲政府ヨリ出ス

トモ之レヲ命スルハ埃及政府ナリ之レハ埃

及ノ権ノアル所ロヲ認ムル為メナリ

組立トハ即チ裁判官何人何々何人ト云フヲナ

リ

埃及人ニ関スルヲハ埃及長官ニテ裁判シ歐人

ハ歐ノ裁判官ニテ上席ヲ為スヲモ此中ニ入

第三ニハ権限ノヲ云フ

三ツノヲ入ル



一ハ埃人ト外人トノ間ノ争

二ハ外人ト外人トノ間ノ争

三ハ埃人ト埃人ノ間ノ争ニ於テ合併裁判ヲ願フトキ

第三ハ公聴ノコトヲ云フ何人ニテモ裁判ヲ傍聴スルコトヲ得ルコト

第四ハ処刑施行ニ付テハ行政官ノ掣肘ヲ受ケスレテ裁判ニテ之ヲ為スコト

埃及裁判所ニハ行刑ノ為メニ兵隊ノ如キモノヲ置クコト

歐洲ニハ兵隊ノ如キモノハナシ

元来兵隊ノ如キモノ澤山アルトキハ弊害ヲ醸

スカモ知ルヘカラスト虽に聊カナレハソノ

害モアルヘカラス

併ニテハシレツ、兵隊共ニホリスニテ毎日交

代レテ警衛ヲ為ス

之レヲ裁判長官ニテ指揮スルヲ得ルト虽に裁判所附属ノモノニハアラス

第五ハ裁判官不抜ノ推ノコト并昇進ノコト

昇進ハ政府ノ好ミニ任カスルコトヲ為サス裁判

所ノ申立ヲ以テ之レヲ為ス

又他職ヲ兼子サルトハ行政官ノ事務ヲ兼子サルコトナリ

併ニテモ之レヲ兼子ス

并ニ規律罪ノ一之レハ職務上ニ付テ過ケノアルコトニテ一般ノ輕重罪トハ異ナリ

タトヘハ裁判所へ出席スヘキニ怠リタル等ハ輕重罪ハ入ラサルナリ

第二章ハ檢官局ノコトヲ云フ

一時処分ノコトハタトヘハ此度新規裁判所ヲ

ヲ作りタルトモ既ニ旧裁判所ニテ手ヲ付ケ

タルモノハソノ裁判所ニテ裁判スル又ハ之

レハ未タ手ヲ付ケサルユヘ新規裁判所ニテ

裁判スルノ區別ヲ云ヒタルモノナリ

タトヒ行政事務ナリトモ改革ノ際ニハ此規則

ナカルヘカラス

日本ニテ新法ヲ立ツルトモ必ラス之レヲ立テ

サルヘカラサルナリ

第二題号刑事裁判所

之レハ尋常ノ刑事裁判所ニハアラスソノ裁判

ノ事務ニ関スルモノナリ

第一章懲戒裁判所トアリ裁判官ニテ人民ニ對

シテノ罪ト人民ニテ裁判官并ニ附屬官ニ對

シテノ罪ヲ裁判スル所トナリトス

凡三トアルハボアソナードニハ分カラス寫字

ノ誤リナラン

第一ハ組立即チ特別裁判所ノ組立ナリ

此本書モ手ニ入ラス又之レニ付テノ書類モナ

シ甚タ講釈スルニ困ルナリ

之レハ只々分解シタル拔萃ナリ之レノミニテ

ハ委レキコヲ釈スルコヲ得ス

第一ノ組立ハ一條ヨリ五條マテアリ之レハ如

何ナリレヤ本官ヲ外務省へ返レタルニ付キ

忘レタリ

第二ハ推限ナリ

之レ等ハ前ニ説ク所トニ變ラサルナリ

此全部ハ日本ニテハ肝要ト思フユヘ訳スヘシ

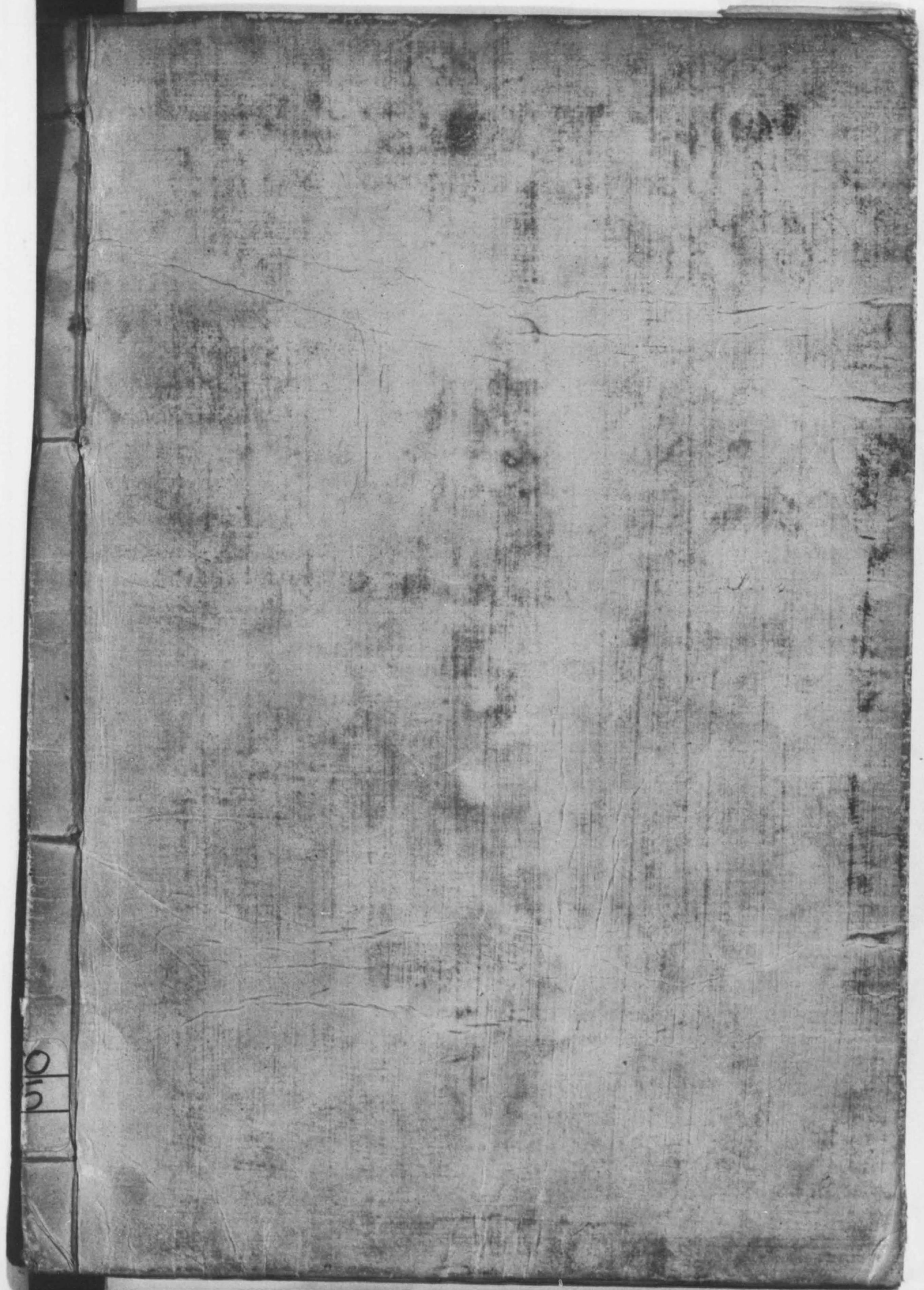
ト云ヒタリ之レヲ訳シタテハ分明ニ解レ得

ヘキナリ

前ニ云フ所トハ見込ミノミナリ此所トハ定マ

リタル所口ナリ故ニ説クニハ及ハサルナ  
リ

他日右ニ関係スル書類ヲ總テ外務省ヨリ借用  
シタル上ナラテハ詳カニ説クニ能ハス



010